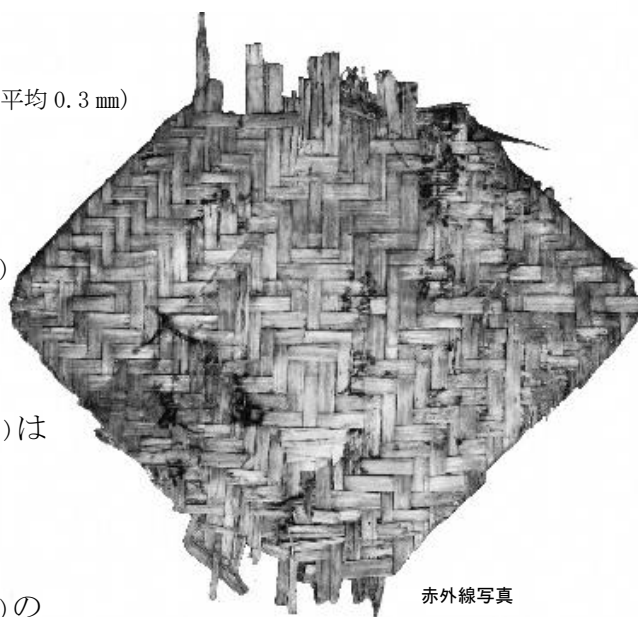


資料 2 国内初！「漢詩墨書のある網代団扇」^{かん し ぼく しょ} ^{あ じろ う ち わ} を無料公開します

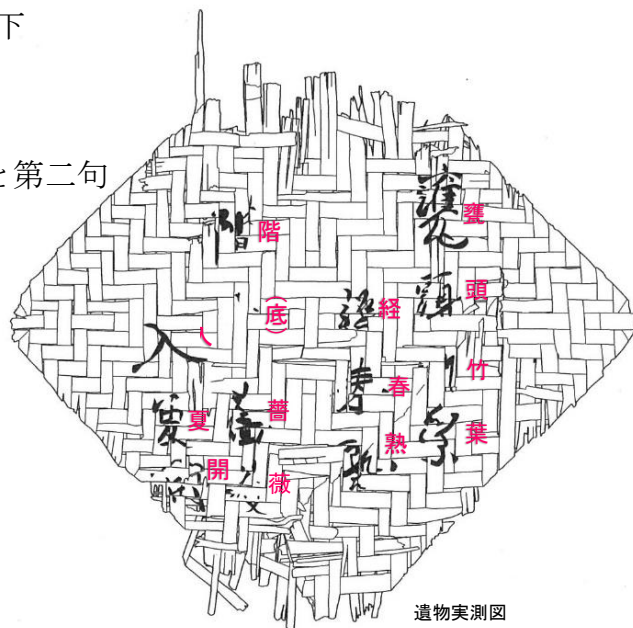
このたび、沖塚原東B遺跡より出土しました鎌倉時代の網代団扇に、中国唐の文学者である白居易の漢詩が墨書きされていることが確認されました。団扇に書かれている漢詩の作者が特定できたのは、国内初となります。また、団扇の樹種がヒノキであると断定されたことで、絵巻に出てくる網代団扇の素材が裏付けられたことになります。

この貴重な遺物を新湊博物館で無料公開しますので、ぜひご覧ください。

- 1 遺物 網代団扇 (13 世紀後半～14 世紀前半)
- 2 寸法 27.8×27.6 cm、厚さ 0.22～0.35 mm (平均 0.3 mm)
- 3 樹種 ヒノキ
- 4 分析 奈良文化財研究所平城地区史料研究室
 評価 佐々木由香 (金沢大学考古科学部門特任准教授)
- 5 墨書 甕頭竹葉／経春熟 ※裏面にも墨書あり
 階底薔薇／入夏開 判読不明
- 6 読み 甕(もたひ)の 頭(ほとり)の 竹葉(ちくよう)は
 春を経て熟し
 階(はし)の 底(もと)の 薔薇(しょうび)は
 夏に入りて開く
- 7 和訳 去年の冬から醸(かも)してきた瓶(かめ)の
 酒は、春を越してほどよく熟し、階下
 の薔薇は、夏が来て咲きだした。
- 8 出典 中国唐の文学者^{はくきょい} 白居易(772～846)
^{はくし ぶんしゅう} 漢詩『白氏文集』七言律詩の第一句と第二句



赤外線写真



遺物実測図

『北野天神縁起絵巻』(承久本)より引用



あぐらをかき墨書のある団扇をもつ子供

- 9 公開期間 3 月 4 日(土)から 4 月 2 日(日)まで ※休館日: 3 月 7 日・14 日・22 日・28 日
- 10 場 所 新湊博物館 エントランス ※開館時間: 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
- 11 問合せ 生涯学習・スポーツ課 文化財係 電話 0766-51-6637